

透過與 AI 技術合作分析世界知名電影《在車上》與 村上春樹原著

曾秋桂

淡江大學日本語文學系教授

摘要

濱口龍介導演以村上春樹小說《沒有女人的男人們》(2014、文藝春秋，收錄包含《在車上》共計 6 篇短篇作品)為原著，拍攝成電影《在車上》(2021、文化便利俱樂部)，而獲得電影獎項四冠王的榮耀。另村上春樹原著銷售量也高達 100 萬本，是部受到全世界喜愛的文學作品。無論原著或電影都是風靡世界，暢行世界無阻。

本論文擬釐清電影以及村上春樹原著間聚焦處的差異性。並力圖藉由與 AI 時代當紅的 AI 技術合作，以彰顯出包含收錄於《沒有女人的男人們》的其他短篇間之關聯性，以進一步凸顯出《在車上》的特性。

考察結果顯示，村上春樹以高超的文章能力描寫了又精緻又耐人尋味的家福、木野故事。而濱口龍介導演則多面向地將村上精緻描繪的人性濃縮於電影之中。另村上春樹寄情於《在車上》，亦可透過 AI 技術解析出的結果驗證出。由此可知電影取名為《在車上》而非《沒有女人的男人們》來看，濱口龍介導演應該也領悟了村上春樹的寄情而隨之附和的。

關鍵詞：濱口龍介、電影《在車上》、村上春樹、原著《沒有女人的男人們》、AI 技術

受理日期：2023 年 3 月 02 日

通過日期：2023 年 5 月 26 日

DOI：10.29758/TWRYJYSB.202306_(40).0007

**World Sensation Movie “Drive My Car” and
Haruki Murakami’s Original Work:
In Collaboration with AI Technology**

Tseng, Chiu-Kuei

Professor, Department of Japanese, Tamkang University

Abstract

The film “Drive My Car” (2021), directed by Ryusuke Hamaguchi and Based on Haruki Murakami’s “Men Without Women” has won four film awards. Meanwhile, Haruki Murakami’s original work has seen sales of more than 1 million copies since its publication and is a literary work that has been read and loved around the world. Thus, it could be said that both the film and the literary works share similarities of taking the world by storm and connecting to the world.

This paper aims to put in focus and clarifies the differences between the movie “Drive My Car” and Haruki Murakami’s original work “Men Without Women”. This paper also utilizes AI technologies to show the connections between the other stories in “Men Without Women” and the film “Drive My Car”.

As a result of this study, it can be said that director Ryusuke Hamaguchi has condensed the dense and highly readable story of Iefuku and Kino, which Haruki Murakami depicted in his original work with his advanced literary skills, into a human story. Furthermore, Haruki Murakami’s attachment towards “Drive My Car” can also be shown from the analysis using AI Technology. it is fair to say that the director, Ryusuke Hamaguchi, understood .

Keywords : Ryusuke Hamaguchi, Drive My Car, Haruki Murakami, Men Without Women, AI Technology

世界に繋がる映画『ドライブ・マイ・カー』と
村上春樹の原作
—AI 技術との協働を図って—

曾秋桂

淡江大学日本語学科教授

要旨

濱口竜介監督が、村上春樹『女のいない男たち』(2014、文藝春秋、「ドライブ・マイ・カー」を含む6篇の短編作品を収録)を原作に作った映画『ドライブ・マイ・カー』(2021、コレクターズ・エディション)は、4冠映画賞獲得の栄光を得た。一方、村上春樹の原作は刊行されて既に100万部を突破し、世界的に愛読された文学作品である。このように、世界を風靡し、世界に繋がるという点では両者が共通している。

本論文では映画『ドライブ・マイ・カー』と村上春樹の原作『女のいない男たち』との間に焦点とされたことの相違を明らかにし、さらにAI時代で求めるAI技術との協働を図るため、AI技術を応用し、投影された諸短作品との関わりも明確にした。

考察した結果、村上春樹が高度な文章力により原作に描いた密度の高く、読み応えのある家福、木野の物語を、濱口竜介監督が映画に人間の内心を多面的に映し出した人間模様へと凝縮したと言えよう。さらに、「ドライブ・マイ・カー」に寄せた村上春樹の愛着は、AI技術と協働し解析された、「ドライブ・マイ・カー」のより肯定的な一面を持つ結果からは立証できた。これにより、村上春樹の心情を濱口竜介監督が見抜き、寄り添ったと言ってもよい。

キーワード：濱口竜介、映画『ドライブ・マイ・カー』、村上春樹、原作『女のいない男たち』、AI技術

世界に繋がる映画『ドライブ・マイ・カー』と 村上春樹の原作 —AI 技術との協働を図って—

曾秋桂

淡江大学日本語学科教授

1. はじめに

濱口竜介監督が、村上春樹の原作『女のいない男たち』(2014、文藝春秋)に「惚れ込み自ら映画化を熱望、脚本も手掛ける意欲作」¹の映画『ドライブ・マイ・カー』(2021、コレクターズ・エディション)は、「第94回アカデミー賞国際長編映画賞」、そして日本映画としては史上初となる「第74回カンヌ国際映画祭脚本賞」、国際映画批評家連盟賞、AFCAE賞、エキュメニカル審査員賞の独立賞も受賞した4冠獲得の栄光²を得た。一方、原作の村上春樹の『女のいない男たち』は、「現在(2021年、論者注)、累計発行部数は70万部を突破、19カ国語に翻訳され多くの国で愛されている」³そうで、2022年3月30日の時点で、既に100万部を突破した⁴ベストセラーである。このように、世界を風靡し、世界に繋がるという点では、両者が共通している。

村上春樹が『女のいない男たち』の書き方については、「そういう書き方をして都合の良い点は、作品のグループにそれなりの一貫性や繋がりを与えられることだ。ばらばらに書かれたものをただ集めて一つのバスケットに詰め込むというのではなく、特定のテーマなりモチーフを設定し、コンセプトチュアルに作品群を並べていくこと

¹ <https://dmc.bitters.co.jp/>(2022年10月7日閲覧)

² <https://dmc.bitters.co.jp/>(2022年10月7日閲覧)

³ <https://dmc.bitters.co.jp/>(2022年10月7日閲覧)

⁴ 出版業界の唯一専門紙『新文化』「このほど決めた文庫の5万部(15刷)重版で62万部。単行本は40万部を発行している」とある。

<https://www.shinbunka.co.jp/news2022/03/220330-01.htm>(2023年2月20日閲覧)

ができる」⁵と述べたことがある。それは『神の子どもたちはみな踊る』(2000、新潮社)、『東京奇譚集』(2005、新潮社)から用い続けた手法でもある。テーマの一貫性を保った当短編集には、「ドライブ・マイ・カー」、「イエスタデイ」、「独立器官」、「シェエラザード」、「木野」、「女のいない男たち」の6篇が収録されているが、映画『ドライブ・マイ・カー』は、巻頭の「ドライブ・マイ・カー」を使用した、「ドライブ・マイ・カー」のほか、同短編小説集に収録されている「シェエラザード」「木野」のエピソードも投影されている⁶という。この点については、「究極的には僕も自分の映画を異界みたいなところに持っていきたいという思いがある」⁷濱口竜介監督が「他の短篇に書かれた異界への鍵みたいなものも必要とした」⁸と説明している。

そもそも、文字に訴える文学作品と映像に訴える映画とは、伝達媒体⁹が違う故、当然に訴える対象が相違するはずである。そこで、映画『ドライブ・マイ・カー』が「惚れ込み自ら映画化を熱望、脚本も手掛ける意欲作」¹⁰だとは濱口竜介監督が述べたが、その映画と村上春樹原作との距離を思わずに考えてしまう。従って、本論文では世界に繋がる映画『ドライブ・マイ・カー』と村上春樹の原作「ドライブ・マイ・カー」との間に焦点とされたことの相違を明らかにする。さらに、AI時代で求めるAI技術との協働を図るため、AI技術を応用し、投影された諸短編との関わりも明確にしたいのである。

⁵ 村上春樹(2014)「まえがき」『女のいない男たち』文藝春秋 p.6

⁶ <https://dmc.bitters.co.jp/>(2022年10月7日閲覧)

⁷ 濱口竜介・野崎敏(2021)「映画『ドライブ・マイ・カー』をめぐる対談異界へと誘う、声と沈黙」『文學界』9月号文藝春秋 p.96

⁸ 濱口竜介・野崎敏(2021)「映画『ドライブ・マイ・カー』をめぐる対談異界へと誘う、声と沈黙」『文學界』9月号文藝春秋 p.96

⁹ <https://www.bunka.go.jp/bunkacho/chokan/93686201.html>(2022年10月7日閲覧)
「第94回アカデミー賞国際長編映画賞」の受賞を祝うために送った文化庁長官都倉俊一の言葉に、「映画は時間や空間、世代を超えた世界共通の文化であり、異なる価値観を理解するための手段として、極めて有効な媒体です」ある。

¹⁰ <https://dmc.bitters.co.jp/>(2022年10月7日閲覧)

2. 原作の村上春樹の『女のいない男たち』(2014)について

原作に収録された6作品の詳細を表1に掲載する。

表1 『女のいない男たち』における6作品の詳細¹¹

| 作品名/作中時間 | 主人公(年齢か出生)/予言者(あるいは*仲間) | トラウマあるいは主題 | 結末/他の関連作品 |
|---------------------|---|----------------------------------|--|
| ①ドライブ・マイ・カー(第三人称小説) | 男性家福(60歳近く)/渡利みさき(24歳) | 妻の不倫の不可解さ | 不明 |
| ②イエスタデイ(第一人称小説) | 谷村を名とした僕(36歳)/木樽と彼の彼女栗谷えりか | 僕が語った木樽の女性への拘り | 不明/漱石の『三四郎』 |
| ③独立器官(第一人称小説) | 谷村を名とした僕/渡会(52歳)と不倫の女性(16歳年下) | 2ヶ月間、僕が語った谷村の恋煩いで生きる意欲を失い、死に至った話 | 恋煩い・拒食症・死亡 |
| ④シェエラザード(第三人称小説) | 羽原(31歳)と羽原に「シェエラザード」(35歳)と呼ばれた女性の17歳の「報われない恋」 | 「シェエラザード」の空き巣に入った経験談 | やつめうなぎに同化したシェエラザードと羽原が結ばれたセックスを通して、17歳の「報われない恋」が成就した。 /漱石の『こころ』 |
| ⑤木野(第三人称小説) | 木野(39歳/*神田(30代前半)・伯母(60歳過ぎ)・性虐待を受けた女性客(30歳前後) | 妻が同僚との不倫から受けた心的傷 | 離婚/漱石の『彼岸過迄』 |
| ⑥女のいない男たち(第一人称小説) | 僕/妻・三人目の彼女エム | 14歳にした恋を思い出し、天国にいる彼女を祝福 | 祝福 |

「ドライブ・マイ・カー」、「シェエラザード」、「木野」の3作品が映画に投影されたと言われるが、野崎歓に言わせると、「どこまでが村上さんの小説にある要素でどこからが映画オリジナルなのか区分けが難しいくらい、緊密なアンサンブルの映画になっている」¹²という。これは、村上春樹本人が映画を見た後、「どこまでが僕が書いたもので、どこまでが映画の付け加えなのか境目が全然わからなくて。それが面白かった」¹³と漏らした感想と類似している。まず、

¹¹ 曾秋桂(2014)「生に寄り添う村上春樹の「モラル(倫理)」の体現—日本の二つの大震災によるトラウマを超える模索—」『比較文化研究』NO.114 日本比較文化学会 pp.79-93

¹² 濱口竜介・野崎歓(2021)「映画『ドライブ・マイ・カー』をめぐって対談異界へと誘う、声と沈黙く」『文學界』9月号文藝春秋 pp.97-98

¹³ 田島朗編集(2022)「村上春樹2021の観る」『BRUTUS 村上春樹』マガジンハウスムック p.118

投影された作品を逐次に見てみよう。

2.1 対話を通してトラウマに向き合うようになった家福¹⁴

表1を見て分かるように、「ドライブ・マイ・カー」の家福と「木野」の木野が妻の不倫に苦しんでいる。作品時間を1998年から2005年までの間、遅くとも2008年前までと推定された¹⁵「ドライブ・マイ・カー」の家福が、「俳優」(p.24)で、29歳(p.30)に初めて妻に会い、30歳(p.37)に結婚し、「二十年近くの結婚生活」(p.32)をし、49歳(p.30)に妻を「子宮癌」(p.43)で失った。夫婦の間で「三日だけ生きた子供」(p.33)がいた。女の赤ん坊を失ってしまった家福が「妻がほかの男と性的関係を持つようになったのはそのあとからだ」(p.34)と気づき、「子供を失ったことが、彼女の中にそういう欲求を目覚めさせたのかもしれない」(p.34)と解釈した。家福が「夫婦としてまた生活のパートナーとして、良好な関係を常に保って」(p.31)おり、「精神的にも性的にも相性が良い」(p.31)と思っただが、「どうして彼女が他の男たちと寝なくてはならないのか」(p.31)と理解に苦しみ、「その理由を妻が活着ているうちに思い切っけて聞いておけばよかつた」(p.31)と後悔した。妻の死後、挨拶にきた妻と「性的関係を持」(p.43)つた男の一人の「高槻」(p.42)を誘い、酒を飲みながら、妻の話をしていた。高槻との付き合いが49歳に妻を失ってから、1年後の50歳との間のことであつた。そのことを「十年近く前のこと」(p.39)とされた以上、作品の現時点では、家福が60歳近くなると推測される。そして、妻の不倫が子供を失ってから始まつたことだとすると、子供が「生きていればちようど二十四歳になる」(p.33)とあるように、家福が妻の不倫の故、抱えていたトラウマが24年間であつたことが分かつた。この家福が、「飲酒運転」(p.25)に伴い、「緑内障」(p.25)を発覚し、運転を禁止されたために、雇つた「専属運転手」(p.27)の名は、渡利みさきで、「24歳」(p.33)の女性である。家福が

¹⁴ 「ドライブ・マイ・カー」に関する内容は、前掲曾秋桂(2014)論文からの抜粋である。

¹⁵ 曾秋桂(2015)「村上春樹《沒有女人的男人們》中的城市拼圖」『世界文學』9 淡江大学・聯経出版公司 pp.231-241

24年間心に抱えていたトラウマを「北海道上十二滝町からやってきた自分の娘くらいの年の女を相手」(p.59)に打ち明けたことを不思議に思うと同時に、偶然にみさきを見捨てた父は、家福と「同じ年の生まれ」(p.58)でもある。また、妻の不倫で生じた「自分の中にある怒りのようなものを解消しなくてはならなかった」(p.59)と認識した家福が、「痛めつけてやるつもり」(p.58)で高槻を誘い、酒を飲んだが、別れる際に握手して、「あの手が、あの指が妻の裸の身体を撫でたのだ」(p.45)と家福はため息をついた。そして、高槻に近づく度に、家福の心に持つ「怒り」(p.59)が、「感じなくなっていた。あるいはそれは本当は怒りではなく、何か別のものだったかもしれない」(p.60)と思うようになった。高槻が「たいしたやつじゃないんだ」(p.61)と気付いた家福が、「自身に向けられた侮辱のようにさえ感じられる」(p.61)とみさきが言ったように、家福の怒りがだんだん侮辱へと変質させたのである。このように、トラウマの故、外側に向けた怒りから自分の内側に向けた侮辱へと変質したことからは、みさきとの対話を通して、トラウマが完全に解消されたとは到底思えないが、まるで家福が車の中で練習した「ヴァーニャ伯父」劇にある「ああ、いやだ。たまらない。どうして私はこういう不器量に生まれついたんだらう?つくづくいやになってしまう」のセリフに象徴されたように、いくら不器量に生まれついたとしても、生じたトラウマを既成事実として見て、そのトラウマに立ち向かって生きていくこそ人生だと、村上春樹がその真実を抉り出してくれるのではないか。

2.2 旅を通してトラウマに向き合うようになった木野¹⁶

作品時間を「ドライブ・マイ・カー」と10年の隔たりがあり、1988年から1995年までの間、遅くとも1998年前までと推定された¹⁷「木

¹⁶ 曾秋桂(2015)「村上春樹の男嫉妬物語「木野」の蛇の持つ「両義性」—重層物語世界の構築へ向けて—」『台湾日本語文学報』38号台湾日本語文学会 pp.25-48からの抜粋である。

¹⁷ 曾秋桂(2015)「村上春樹《沒有女人的男人們》中的城市拼圖」『世界文學』9淡江大学・聯經出版公司 pp.231-241

野」の木野は、「スポーツ用品を販売する会社に十七年勤めた」(p.216)。「三十九歳」(p.217)で、「三十五歳」(p.217)の妻が同僚と不倫したことで会社を辞め、家を出た。伯母に譲ってもらった喫茶店を「開店して二ヶ月ほど経った」(p.222)の「四月半ばの少し肌寒い夜」(p.214)に、「神田」を名とした客が店にやってきた。上の記述を時間的に計算すると、木野が2月に妻の不倫を目撃したことになった。妻と「夏の終わりに離婚」(p.238)し、「木野と二人だけでじかに話し合うことを望んでいた」(p.238)妻の願いを聞き入れて、二人で一度会った。その後、木野が「秋」(p.242)に、高松(p.251)、熊本(p.252)へと旅を続けて、最後に旅先の熊本で妻の不倫に傷つかれた自分を受け入れたのである。このように、妻の不倫の故、トラウマを24年間抱えていた家福とは違い、木野は妻の不倫の故、春先の2月から秋まで抱えていたことが分かった。そして、泊まった熊本のホテルでは木野が3回ノックされた。1回目ノックされた時に、「本物の痛みを感じるべきときに、おれは肝心の感覚を押し殺してしまった。痛切なものを引き受けたくなかったから、真実と正面から向かい合うことを回避し、その結果こうして中身のない虚ろな心を抱き続けることになった」(pp.256-257)と木野が自己分析した。そして、2回目ノックされた時に、「彼女が面と向かって謝罪したし、おれはそれを受け入れたのだ。おれは忘れることだけではなく、赦すことを覚えなくてはならない」(p.260)と認識を深め、妻からの謝罪を心より受け入れ、本心から赦すことの大切さに気づいた。3回目ノックされた時に、「誰かが耳元で」(p.261)、「目を背けず、私をまっすぐ見なさい」(p.261)、また「これがお前の心の姿なのだから」と囁いたため、トラウマの根源とされた妻の不倫したベッドシーンに直視するようになった。同時に店に訪ねてきた別れた妻が、「木野の手に優しく手をかさねた。「ごめんなさい」」(p.241)と謝った場面を思い出した。「木野の手に優しく手をかさねた」彼女の「暖かい手」(p.261)から感じた「肌の温もり」(p.261)は、トラウマの根源とされたベッドシーンに直視した後、木野の心が温まった記憶の一つになるに違いない。

ここからは、妻の不倫の故、トラウマを抱えている夫がなお妻の温もりを求め続ける希求が叶ったことが分かる。この点において言えば、まさに館野日出男が村上春樹を三島由紀夫と比較した上、「村上春樹のモラルの出発点はこの人間への愛しさという感情にある」¹⁸と指摘した通りである。それを村上春樹の言葉を借りて解釈すれば、「ヒューマニティの再生への出発点」¹⁹と理解してもよからう。

2.3 「シェエラザード」の17歳の「報われない恋」²⁰が成就

「シェエラザード」に、31歳(p.172)の「ハウス」²¹(p.174)に送られた羽原と、『千夜一夜物語』(p.63)の王妃の名前に因んで、名をシェエラザードと呼ばれた35歳(p.172)の、夫と二児を有する「看護師の資格」(p.172)を持つ「専業主婦」(p.172)が登場している。「連絡係」(p.181)として羽原の世話担当者のシェエラザードが、用事を片付けた後、「二人は自然に寝室へと移動し」(p.174)、セックスをする。セックスの後、シェエラザードが「興味深い、不思議な話を聞かせてくれ」る(p.171)が、「まったくの創作なのか、それとも部分的に事実で部分的に作り話なのか」(p.172)と羽原には見当がつかない。そのうち、シェエラザードが「私の前世はやつめうなぎだった」(p.176)と語り始めた。それは、17歳の時に学校を休んで、「恋をしていた」(p.185)同じクラスの男の家へ空き巣に4回行ったシェエラザードの「報われない恋」がある。特に3回目に、好きな彼の「ベッドに横になった。そしてシャツに顔を埋め、その汗の匂いを飽きることなく嗅ぎ続けた」(p.200)シェエラザードが、「股の部分が温かく湿って」

¹⁸ 館野日出男(2005・初2004)「村上春樹と三島由紀夫」今井清人編『村上春樹スタディーズ2000-2004』若草書房 p.114

¹⁹ 「完全版:村上春樹さんカタルーニャ賞受賞スピーチ」<https://murakami-haruki-times.com/catalunyaprizeharukimurakamispeech/>(2022年10月9日閲覧)

²⁰ 曾秋桂(2015)「村上春樹文学のメディウムとしての「うなぎ」」森正人監修、小森陽一・曾秋桂編集『村上春樹におけるメディウム—21世紀篇』村上春樹研究叢書第二輯淡江大学出版中心 pp.149-175

²¹ 「ハウス」については、ただ「外界との連絡を一切絶たれ」(p.175)、「外に出ることのできない」(p.181)、「すべての自由を取上げられ」(p.209)と言ったぐらいで、どんな所かよく分からない。また「アルコールは一切にしない」(p.715)が仄めかされる飲酒禁止から、事件を起こした原因は多分飲酒と関係するに違いない。

(p.201)おり、自分の「性欲」(p.201)に目覚めたが、「性欲で汚れてしまったものを彼の部屋に残していくわけにはいかない。そんなことをしたら自分を卑しめてしまうことになる」(p.201)と思い、何も置いていなかった。シェエラザードが語っている真っ最中、一度 35 歳の現実に立ち戻り、羽原に再度性行為を求め、「最後にはっきりとしたオーガズムを迎えた」(p.202)のである。このように、シェエラザードが 17 歳の「報われない恋」(p.185)が、羽原に再度性行為を求めることにより成就したのである。

3. 映画『ドライブ・マイ・カー』(2021)について

映画『ドライブ・マイ・カー』は、クモ膜下出血で妻を亡くした舞台俳優の家福悠介が、専属ドライバーの渡利みさきとの交流を契機に、妻が不倫したベッドシーンを目撃したが、妻が高槻などの複数の男性と不倫した秘密とその理由を聞けなかった自分の痛恨、悲しみに向き合っていく物語である。その物語を時間軸に即して映画の流れを整理すると、下記の表 2 となる。

表 2 映画『ドライブ・マイ・カー』の時間軸

| 記述 | 画面に出たシーン | 推定 |
|----------------------|-----------------|-------------|
| 家福の娘の生まれ | | 1997 年 零歳 |
| | | 1998 年 1 歳 |
| | | 1999 年 2 歳 |
| | | 2000 年 3 歳 |
| 家福悠介の娘の死 | 平成十三年二月二十五日(位牌) | 2001 年 4 歳 |
| SAAB900 赤い車を買った | | 2006 年 9 歳 |
| 大雨による地滑りで家が全滅し、母が死亡。 | 渡利みさき | 2015 年 18 歳 |
| クモ膜下出血で妻の音が死亡 | 三月一日 | 2018 年 21 歳 |

| | | |
|-----|--|-------------|
| 演劇祭 | 選考 10 月 22 日 / 稽古 10 月 23 日 -12 月 7 日の一か月半 / 演劇祭本番 12 月 8 日(日曜日)から 22 日(日曜日) | 2020 年 23 歳 |
|-----|--|-------------|

表 2 と照合すると、原作の作品時間²²と専属ドライバーの年齢とは少々ずれているが、原作の粗筋とは基本的にあまり変わらないが、村上春樹の他の作品との関連については、下記の 7 点ほど挙げて、従来の説を補足する。

- (1)妻が不倫したシーンを目撃→出典「木野」
- (2)語りと空き巣→出典「シェエラザード」
- (3)恋のための餓死→出典「独立器官」
- (4)車で北海道に渡ったこと→出典『騎士団長殺し』
- (5)旅先で車が故障したこと→出典『騎士団長殺し』
- (6)プログラムディレクターの柚原の名→出典『騎士団長殺し』による「私」の妻の柚
- (7)家福と妻がセックスする最中に伴っている「雨」、「雷」→出典『1Q84』による、お祓いするためにふかえりが天吾と行っているセックス行為の最中

上記の 7 点に掲げた出典を見ると、映画に投影された作品が「ドライブ・マイ・カー」、「シェエラザード」、「木野」の 3 作品に止まらず、『1Q84』、「独立器官」、『騎士団長殺し』を付け加えなければならない。3 作品を取り入れられたと通常に言われる作品よりも多くの村上春樹作品が持つ要素を映画に取り入れたと言えよう。

なお、家福が乗る車を原作の黄色²³ではなく「映画ではより風景

²² 曾秋桂(2015)「村上春樹《沒有女人的男人們》中的城市拼圖」『世界文學』9 淡江大学・聯経出版公司 pp.231-241 で「ドライブ・マイ・カー」の作中時間が「「Drive My Car」的作品時間應為 1998 年至 2005 年之間，最遲一定在 2008 之前」と指摘されている。

²³ 濱口竜介・野崎敏(2021)「映画『ドライブ・マイ・カー』をめぐって対談異界へと誘う、声と沈黙く」『文學界』9 月号文藝春秋 p.98 では、「キアロスタミの映画のように引いた視点で車が街中を走っていくのを撮ったときに黄色いは

に映える赤い車体のサーブ 900 ターボのサンルーフ」²⁴に関しては、「日本でも 1980 年年代に輸入され人気を博したが、紆余曲折を経て 2017 年にブランドが消滅、約 70 年の歴史に幕を下ろした」²⁵とあるが、黄色い車から赤い車へと色が変わったことはともかく、原作で家福が SAAB900 を購入した時間は、1986 年から 1993 年までの間で、遅くとも 1998 年前まで²⁶と推定されたことで、映画とは時間的に随分違っている。また、原作にはないものとして、ドラマトゥルクを務めた韓国人ユンス夫婦の登場と、高槻が語ったこと、母子家庭で育ったみさきが語った母との葛藤が挙げられる。コミュニケーションに手話を使うソーニャ役の唾者妻ユナの 100 分のことを知ろうとし、夫のユンスが手話を習い始めた。また、高槻が「どれだけ理解し合っているはずの相手でもどれだけ愛している相手でも他人の心をそっくり覗き込むなんて無理です」、「僕らがやらなくちゃならないことは自分の心と上手に正直に折り合いをつけていくことじゃないでしょうか」、「本当に他人を見たいと思うなら、自分自身を深くまっすぐ見つめるしかないんです」と家福に語った意味深長な言葉がある。さらに、みさきが告白したように、中学校から車の運転をし、札幌で水商売の仕事をしている母を出迎えたが、母から家庭暴力を受けた。暴力を振るった後に、母がよく別人格として 8 歳のサチと名乗って現れた。よく泣くサチを抱きしめて、背中を何度も撫でてあげた時のことが好きだとみさきが告白した。母の中にある最後の美しいものがこのただ一人の友のサチには凝縮されていたとみさきは見ている。いずれも他人の心に耳を澄ませ、温もりを求

意外と風景に埋もれるような気がして」とある。

²⁴ (2021)国際版『ドライブ・マイ・カー』コレクターズ・エディションに付けた冊子にある紹介である。

²⁵ (2021)国際版『ドライブ・マイ・カー』コレクターズ・エディションに付けた冊子で触れられている。

²⁶ <http://www.carsensor.net/freeword/SAAB900/>(2015 年 1 月 16 日閲覧)で調べた落合由治の教示を得て、曾秋桂(2015)「村上春樹《沒有女人的男人們》中的城市拼圖」『世界文學』9 淡江大学・聯経出版公司 pp.231-241 で家福が黄色 SAAB900 を購入した時間を「應為 1986 年至 1993 年之間，最慢不可能遲於 1998 年之後」と指摘した。

めようとし、絶望から希望へと転化した姿勢が印象的であった。

さて、映画『ドライブ・マイ・カー』に関する論評であるが、沼野恭子²⁷がそれを「劇中劇」とし、「多言語の横断」、「原作（小説）で言及される戯曲（演劇）を「多言語・バリアフリーの芝居にアダプトした作品（映画）」という「ジャンルの横断」を挙げた上、「ワーニャおじさんの言いようのない喪失感と狂おしいほどの悔恨、そしてソーニャの汚れない前向きの意志。少なくともふたりの言葉が、時空を横断してきて私たちの心を揺さぶることはまちがいない」と絶賛した。また、49頁(38字×17行 646字詰め)程度の原作を179分間に及んだ長い映画に制作した『ドライブ・マイ・カー』を観終わった沼野充義²⁸が、「村上一チェーホフ—濱口の三つ巴」という言葉がひとりで頭に浮かんだ」と感想を述べて、「単なる“村上春樹原作映画”ではなく、演劇、手話の要素に、日本人の俳優に交じって、台湾人、韓国人、フィリピン人が加わった「多言語的演劇」に仕上げられた点を称賛している。さらに、「村上春樹作品の設定を通過した後で、初めて聞くように響いているというのが、濱口映画の勝利を示すものではないか」と高く評価している。同じような絶賛する立場を取ったD・A・ミラーが「脱ドラマ化」、「多言語化」、「機械された発音」の三つのやり方で過酷な貧弱化²⁹から抜け出した。絶賛する一方、堀内愛月のように、「その記憶と夢の中で、家福は伶俐な犯罪者であったのかもしれない」という「簡単には呑み込めない「別の真相」を宿した、言うなれば「ヤバい映画」」³⁰と指摘した見方もある。

²⁷ 沼野恭子(2021)「巻頭言」『総合文化研究』第25号東京外国語大学総合文化研究所

²⁸ <https://www.bookbang.jp/article/729170>(2022年10月1日閲覧)

²⁹ D・A・ミラー著・佐藤元状訳「『ドライブ・マイ・カー』のせいで気が狂いそうだ」佐藤元状・富塚亮平編著(2023)『『ドライブ・マイ・カー』論』慶応義塾大学出版会 pp.11-14

³⁰ 堀内愛月(2022)「映画『ドライブ・マイ・カー』論考—すべては「主人公の夢」だったのか？」<https://jp.ign.com/drive-my-ar/58576/feature/>(2023年2月25日閲覧)

4. AI 技術による『女のいない男たち』の解析—AI 技術との協働を図るために

角度を変えて、AI 時代に相応しい AI 技術³¹を応用し、『女のいない男たち』の感情表現を解析すると、下記の表 3 となる。

表 3 『女のいない男たち』の感情分析

| 感情分析 「女のいない男たち」 | |
|--------------------|-------|
| 章 | 感情スコア |
| 1 ドライブ・マイ・カー | 0.359 |
| 2 イエスタディ | 0.252 |
| 3 独立器官 | 0.157 |
| 4 シェエラザード | 0.044 |
| 5 木野 | 0.16 |
| 6 女のいない男たち | 0.01 |
| 総合スコア | |
| | 0.188 |

表 3 に感情極性は“positive”（ポジティブ）と“negative”（ネガティブ）の二値属性で表されており、-1 から+1 の実数値が割り当てられるという。感情極性が positive であればであるほど+1 に近く、negative であればであるほど-1 に近い値が与えられているのである。表 3 の通り、「ドライブ・マイ・カー」が「0.359」でトップの座を占めている。そして、感情の推移を図 1 に示しておく。

図 1 『女のいない男たち』の感情の推移

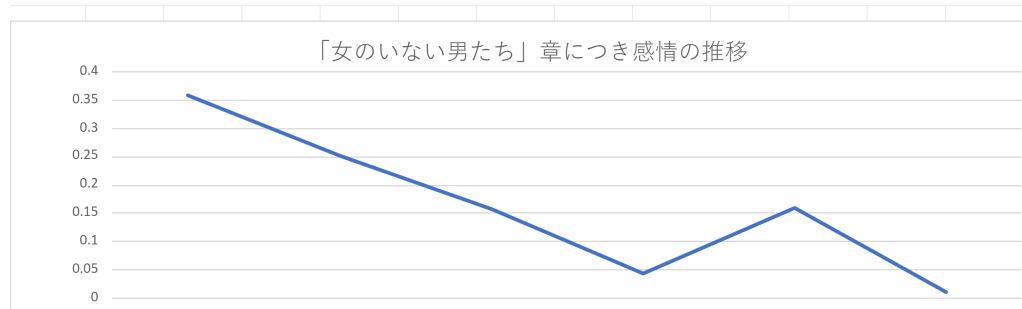


図1に挙げた感情の推移を見ても分かるように、『女のいない男たち』に収録した作品が次第に下がっていく一方である。さらに、表 4を参照し、今まで解析した村上春樹の他の作品と参考に比較しよう。

³¹ <https://qiita.com/yukinoi/items/46aa016d83bb0e64f598>(2022年12月30日閲覧) 日本語評価極性辞書を利用した Python 用 Sentiment Analysis ライブラリ Oseti を用いた。

表4 村上春樹作品における感情分析の総合平均スコア

| ランキング | 作品名 | 総合スコア |
|-------|------------------------------|-------|
| 1 | 『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』(2013) | 0.218 |
| 2 | 『騎士団長殺し』(2017) | 0.2 |
| 3 | 『女のいない男たち』(2014) | 0.188 |
| 4 | 『一人称単数』(2020) | 0.142 |
| 5 | 『1Q84』(2009-2010) | 0.125 |

表4を見て明らかのように、『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』が総合スコア0.218で、トップの座を占めている。しかし、「ドライブ・マイ・カー」のスコアが「0.359」で、明らかにトップの座を占めた『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』も超えている。AI技術を応用した点において言えば、「ドライブ・マイ・カー」により肯定的な一面があると分かった。

5. おわりに

一読者・研究者の立場として、沼野充義が「村上春樹作品の設定を通過した後で、初めて聞くように響いているというのが、濱口映画の勝利を示すものではないか」と高く評価したことに異論はない。一方、村上春樹原作を映画化した監督濱口竜介が「村上さんの小説で描かれた異世界みたい部分を映像で再現するのは難しい。(中略)単にファンタジー的な要素を映像で足しても、それは自分たちの心の中で起きている出来事なのだと確信させる強度のようなものには絶対に至らない」³²と村上春樹原作を映画化する難しさを語っている。確かに、女に去られてしまった男にスポットを当てて、心のわだかまりをぶっつけようもない悔恨の思いに苛まれた心情をきめ細かく描出できたとは、密度が高く読み応えがある村上春樹の高度な

³² 田島朗編集(2022)「原作と映画を見比べる。～監督たちは、短編をこう変えた」『BRUTUS 村上春樹』マガジンハウスムック p.121

文章力に改めて感嘆する。AI 技術による解析からも、「ドライブ・マイ・カー」がより肯定的な一面があると分かった。

また、村上春樹の原作『女のいない男たち』の書名をそのまま使うことなく、巻頭に飾った「ドライブ・マイ・カー」を映画の名にした理由は、監督が「女のいない男たち」の範疇を超え、家福と木野の物語だけではなく、生きていく上で各自が直面しなければならない厳しい現実があるが、大切な人を喪失した悲しみなどの絶望から「生きていこう」という希望へと転化させるような普遍的群像性を求める所にある。「ドライブ・マイ・カー」に寄せた村上春樹の愛着は、AI 技術と協働し解析した「ドライブ・マイ・カー」のより肯定的な一面を持つ結果からは立証できた。そのため、村上春樹の心境を濱口竜介監督が見抜き、寄り添ったと言っても差し支えない。

そして、家福の周辺に集まってきたみさき、韓国人ユンス夫婦、高槻などの人物が各自に心的傷を抱えながらも強く生きている姿の方を重大視し、さらに「ワーニャ伯父さん」劇では傷つきながらも新たに強く生きていこうとするワーニャ伯父さんとソーニャの姿勢と呼応する劇中劇と手話の要素が紡ぎ出す多言語、多文化、多ジャンルの持つという重層性を持ち仕上げた映画が、国際的共鳴を呼び起こす普遍性なおかつ深みのある成功作となったのである。

このように、村上春樹の原作に描いた家福、木野の物語から、原作を映像化した映画の中に、人間の内心を多面的に豊かに映し出した人間模様へと凝縮したと言えよう。さらに、ロケ地を原爆の落とされた負の世界遺産を持つ広島にしたことに、世界平和を訴えるメッセージが込められている。と同時にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が 1 年となった今こそ、「ここをまっすぐずっと行ったら平和公園です。原爆ドームと慰霊碑を結ぶ線は平和の軸線と呼ばれてます」のセリフ通り、戦争・紛争をなくす平和への切なる願望がまさに世界へと響き渡ろうとしている。

<付記>本論文は、111年度科技部研究計画案(MOST 111-2410-H-032-058 MY2)による研究成果の一部である。

テキスト

村上春樹(2009-2010)『1Q84』新潮社

村上春樹(2014)『女のいない男たち』文藝春秋

村上春樹(2013)『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』文藝春秋

村上春樹(2017)『騎士団長殺し』新潮社

村上春樹(2020)『一人称単数』文藝春秋

濱口竜介(2021)インターナショナル版『ドライブ・マイ・カー』コレクターズ・エディション

参考文献

(一)書籍あるいは論文

舘野日出男(2005・初 2004)「村上春樹と三島由紀夫」今井清人編『村上春樹スタディーズ 2000-2004』かみ若草書房 p.114

曾秋桂(2014)「生に寄り添う村上春樹の「モラル(倫理)」の体現—日本の二つの大震災によるトラウマを超える模索—」『比較文化研究』NO.114 日本比較文化学会 pp.79-93

曾秋桂(2015)「村上春樹文学のメディアウムとしての「うなぎ」」森正人監修、小森陽一・曾秋桂編集『村上春樹研究叢書村上春樹におけるメディアウム—21世紀篇』第二輯淡江大学出版中心 pp.149-175

曾秋桂(2015)「村上春樹《沒有女人的男人們》中的城市拼圖」『世界文學』9 淡江大学・聯經出版公司 pp.231-241

曾秋桂(2015)「村上春樹の男嫉妬物語「木野」の蛇の持つ「両義性」—重層物語世界の構築へ向けて—」『台湾日本語文学報』38号台湾日本語文学会 pp.25-48

曾秋桂(2016)「男の嫉妬物語を視点に見た夏目漱石と村上春樹—「木

野」における「両義性」から示唆されつつ―」森正人監修、小森陽一・曾秋桂編集『村上春樹研究叢書村上春樹における両義性』第三輯淡江大学出版中心 pp.109-138

曾秋桂(2018)「「女のいない男たち」の延長線として読む『騎士団長殺し』の「魅惑」―日本東大震災への思いを馳せて―」沼野充義監修・曾秋桂編集『村上春樹研究叢書村上春樹における魅惑』第五輯淡江大学出版中心 pp.233-252

沼野恭子(2021)「巻頭言」『総合文化研究』第25号東京外国語大学総合文化研究所

濱口竜介・野崎歓(2021)「映画『ドライブ・マイ・カー』をめぐって対談異界へと誘う、声と沈黙く」『文學界』9月号文藝春秋 pp.95-109

田島朗編集(2022)『BRUTUS 村上春樹』マガジンハウスムック pp.118-121

D・A・ミラー著・佐藤元状訳「『ドライブ・マイ・カー』のせいで気が狂いそうだ」佐藤元状・冨塚亮平編著(2023)『『ドライブ・マイ・カー』論』慶応義塾大学出版会 pp.11-14

(二) ネット資料

「完全版：村上春樹さんカタルーニャ賞受賞スピーチ」

<https://murakami-haruki->

[times.com/catalunyaprizeharukimurakamispeech/](https://murakami-haruki-times.com/catalunyaprizeharukimurakamispeech/)(2022年10月9日閲覧)

<https://dmc.bitters.co.jp/>(2022年10月7日閲覧)

<https://www.bunka.go.jp/bunkacho/chokan/93686201.html>(2022年10月7日閲覧)

<http://www.carsensor.net/freeword/SAAB900/>(2015年1月16日閲覧)

<https://www.bookbang.jp/article/729170>(2022年10月1日閲覧)

<https://www.shinbunka.co.jp/news2022/03/220330-01.htm>(2023年2月20日閲覧)

<http://www.carsensor.net/freeword/SAAB900/>(2015年1月16日閲覧)

<https://jp.ign.com/drive-my-ar/58576/feature/>(2023年2月25日閲覧)

「日本語評価極性辞書を利用した Python 用 Sentiment Analysis ライブラリ Oseti」

<https://qiita.com/yukinoi/items/46aa016d83bb0e64f598>(2022年12月30日閲覧)